

自然災害伝承碑

あなたの街にも自然災害伝承碑がありませんか？

国土地理院は、市町村と連携して自然災害伝承碑の情報を収集し、地図記号として地図化するなど、災害教訓をわかりやすく世の中に伝えるための取組を行っています。

「自然災害伝承碑」とは

- ◆過去に発生した自然災害の様相や被害状況などが記載されている石碑やモニュメントです。
- ◆多くの場合、当時の被災場所に建てられています。
- ◆防災意識の向上に役立つものと期待されます。



自然災害伝承碑



平成30年7月豪雨災害時の救助活動の様相
(写真提供:大阪府警察)

豪雨・洪水、地震・津波、火山噴火等、様々な災害がありますが、地形等に応じて受けやすい災害は異なります。

そして、そのような災害は同一の場所で繰り返し発生します。

ウェブ地図「地理院地図」における表示イメージ
(アイコンで表示されます)

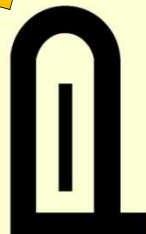


概要	
標名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡坂町小蓬溝 四丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日連続した豪雨により天地川や総持川で土石流が発生した。この被害の大災害により、小蓬溝地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。

Web地理院地図 : <https://maps.gsi.go.jp/>

災害履歴を教訓として
地図に表示

2万5千分1地形図における表示イメージ
(地図記号で表示されます)



過去の災害で学ぶ「自然災害伝承碑」



自然災害伝承碑の地図記号を通じた災害教訓の周知・普及の取組

地理院地図での表示イメージ

アイコンをクリックすると、
碑名や災害名が表示されます



災害名	東日本大震災 (2011年3月11日)
災害種別	地震・津波
建立年	2019
所在地	岩手県下閉伊郡山田町八 幡町269、270番
伝承内容	平成23年(2011)3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生し巨大な津波が町を襲った。山田町の死者・行方不明者825人。沿岸地域の家屋45.8%が全壊し、一部損壊まで含めると55.8%が被害を受けた。
ID	03482-001



更に写真をクリックすると、
伝承内容や拡大写真が表示されます

活用イメージ

学校における 学習教材



身近な災害履歴を学ぶための
学習教材とすることで、小中学校
で活用できます。

地理教育や
防災教育への貢献

探訪コースの 目標物



資料提供: 秋田県能代市

探訪コースの目標物とすることで、
過去の災害情報に歩きながら触れる
機会が得られます。

防災に対する関心を
高めるきっかけ

防災地図の 素材



自然災害伝承碑は、児童生徒が現地
調査を交えながら作成する防災地図の
素材となります。

児童生徒やまわりの
大人の防災意識向上

※ 自然災害伝承碑は、市町村長からの申請により地図に掲載されます。

掲載をご希望の市町村のご担当者様は下記まで問い合わせ下さい